

【資料4】

参 考 資 料

～令和版『地域の学校教育のあり方を考える会』の進め方～

多可町の学校規模の適正化について
【中区小学校】

意見書

平成25年9月

中区地域の学校教育のあり方を考える会

1. はじめに

平成24年2月に学校規模適正化検討委員会が「多可町小中学校の規模及び配置の適正化について」の中で、「小学校においては複式学級が生じる事が予測されるときには区で地域の学校教育のあり方を考える会を設置する」と答申されました。これを受けた多可町教育委員会では、どの区とも児童生徒数の減少が進んでいる状況を、保護者や地域の皆さんに十分に理解していただくために、答申で規定している区に限らず多可町のすべての区で、「地域の学校教育のあり方を考える会」を設置されました。

中区地域の学校教育のあり方を考える会(以下「中区考える会」といいます。)では、中区の小学校についての意見をまとめました。中学校についての検討は中学校検討部会合同会で意見をまとめていただくこととしました。

中区考える会では平成24年7月の第1回会議を開催して以来、慎重に協議しました。ここにその意見書を提出いたします。

2. 中区の状況

中町南小学校は平成30年度まですべての学年で各2クラスとなる見込みです。これはすべての学年でクラス替えができ、平成24年4月に多可町教育委員会が策定した多可町小中学校規模適正化基本方針(以下「基本方針」といいます。)にある望ましい学校規模になります。

一方、中町北小学校は、平成25年度以降、平成31年度までの見込みでも、全学年1クラスとなります。しかしながら、平成31年度においても各学年20人前後で、基本方針にあるような「複式学級が生じるような状況」ではありません。

3. 検討・協議の結果

こうした状況から中区考える会では、いまのところ、中区の小学校については、基本方針にあるような「複式学級が生じるような状況」になるまでは、このまま推移を見守って行きたいと考えます。

もちろん、「このまま推移を見守って行く」ということは、ただ、安穩として放っておくということでは、ありません。現在の年齢別校区別人数から、将来の小中学校の児童・生徒数を推計しており、私ども委員が最初に協議を開始した時点では、平成30年度の小学校の児童数までしか把握できていませんでしたが、平成24年度生まれの子ども数から平成31年度の中町南小学校1年生が34人で1クラスになる見込みとなりました。これは今の0歳児がそのまま異動なく就学すると仮定した人数です。その間に転出・転入があれば変動する数字です。委員の中には児童数の減少は実際はもっと早く進むのではないかという意見もありました。

こうした状況から、児童数の推移を常に注視しつつ、多可町の他の区の動向も参考にしながら早めの検討を始め、議論を進めるべきと考えます。

4. 要望事項

しかし何より、この問題は学校の問題だけでなく、人口増加はもちろん、活力と魅力ある、住みたくなるまちづくりが重要な課題であることから、多可町として、このことを最重要課題として積極的に取り組み、そのことが即、多可町の将来を担う子どもたちにとって、より良い教育条件を整備することとなり、併せて最適な教育環境を作ることに資することになると考えます。

5. おわりに

多可町教育委員会におかれましては、この意見書を真摯に受け止め、対応していただきますようお願いいたします。

多可町の学校規模の適正化について
【加美区小学校】

意見書

平成25年9月

加美区地域の学校教育のあり方を考える会

1. はじめに

平成24年2月に学校規模適正化検討委員会が「多可町小中学校の規模及び配置の適正化について」の中で、「小学校においては複式学級が生じる事が予測されるときには区で地域の学校教育のあり方を考える会を設置する」と答申されました。これを受けた多可町教育委員会では、どの区とも児童生徒数の減少が進んでいる状況を、保護者や地域の皆さんに十分に理解していただくために、答申で規定している区に限らず多可町のすべての区で、「地域の学校教育のあり方を考える会」を設置されました。

加美区地域の学校教育のあり方を考える会(以下「加美区考える会」といいます。)では、加美区の小学校について意見をまとめました。中学校については中学校検討部会合同会で意見をまとめていただくこととしました。

加美区考える会では平成24年7月の第1回会議を開催して以来、慎重に協議を重ねました。ここにその意見書を提出いたします。

2. 加美区の状況

平成24年度生まれの子どもたちが小学校に入学する平成31年度の松井小学校・杉原谷小学校の学年別児童数推計をみると、両校ともに全学年1学年1学級の単学級という状態です。けれども2学年合わせた児童数が14人以下(ただし1年生を含む場合は8人以下)になった場合の学年について一人の担任が2学年をみていく複式学級となる人数ではありません。ただ、これは現在各校区に在住する該当年齢の子どもたちがそのまま異動なく就学すると仮定した人数で、その間に転出・転入があれば変動することも予想されます。

また、平成31年度の加美区の小学校児童数は254人となる見込みで、これは平成18年度の松井小学校児童数(259人)とほぼ同じ人数です。つまり、平成18年度の杉原谷小学校の児童数(190人)分ほどの人数が減ることになる訳で、複式学級が生じる状況が将来加美区にも訪れることが推察されます。

3. 検討・協議の結果

加美区考える会では、加美区の小学校について、昨年度の出生数を見る限り、今のところ基本方針にあるような「複式学級が生じるような状況」ではないことから、しばらくはこのまま推移を見守っていくという結論になりました。

4. 要望事項

小学校においては、今まで以上に特色ある学校づくりに努め、ふるさと多可町を愛し、自らの夢や目標に向かってたくましく生きる子どもの育成に取り組んでいただきたいと思います。

今後さらに児童数の減少が進むことが懸念されることから、児童数の推移や小学校の小規模化の課題など、広く住民に周知する必要があります。その上で早くから、加美区の子どもたちにとってより良い教育環境とはどのようにすることなのか協議会や懇談会を持つなどして議論を深めていってほしいと思います。特に将来保護者となる世代の方には、関心を持っていただきたいところです。

また、児童数の減少については、学校統合をすることによっての問題解決だけでなく、人口の流出・減少を止めるための魅力あるまちづくり・少子化対策が必要です。行政にはそうした対策をしていただくよう強く要望いたします。そうしたことが多可町の将来を担う子どもたちにとってもより良い教育環境を提供することにつながると考えます。

5. おわりに

多可町教育委員会におかれましては、この意見書を真摯に受け止め、早急に対応していただきますようお願いいたします。

多可町の学校規模の適正化について
【八千代区小学校】

意見書

平成25年9月

八千代区地域の学校教育のあり方を考える会

1. はじめに

平成24年2月に学校規模適正化検討委員会が「多可町小中学校の規模及び配置の適正化について」の中で、「小学校においては複式学級が生じる事が予測されるときには区で地域の学校教育のあり方を考える会を設置する」と答申されました。これを受けた多可町教育委員会では、どの区とも児童生徒数の減少が進んでいる状況を、保護者や地域の皆さんに十分に理解していただくために、答申で規定している区に限らず多可町のすべての区で、「地域の学校教育のあり方を考える会」を設置しました。

八千代区地域の学校教育のあり方を考える会(以下「八千代区考える会」といいます。)では、八千代区の小学校について意見をまとめました。中学校については中学校検討部会合同会で意見をまとめていただくこととしました。

八千代区考える会では平成24年7月の第1回会議を開催して以来、慎重に協議を重ねました。その間、校區別懇談会、保護者懇談会、アンケートなど住民の意見を聞く機会を設け、その意をできるだけ汲んで意見をまとめました。ここにその意見書を提出いたします。

2. 八千代区の状況

複式学級については、八千代西小学校では平成26年度に1つでき、平成28年度には2つになることが予想されます。八千代北小学校では平成29年度に1つでき、2つになるのが平成31年度の予想です。

男女の比率の件では、現在八千代北小学校の2年生が女子1人という状況であり、八千代西小学校でも現在1年生が男女1人ずつの学年となっています。今後、両校では男女どちらかが1人という学年がいくつかできることが予想されます。

こうした状況を八千代区の保護者や住民の方にお知らせし、統合の可否についてアンケートでおたずねしました。平成25年3月に実施した保護者アンケートでは「学校統合を進めるべきである」と「学校統合もやむを得ない」という意見が、多い校区では95%、一番少ない校区でも80%を超え、さらに同年6月に実施した全世帯アンケートの結果、多い校区では76%、一番少ない校区でも66%以上の方がそう回答されています。

3. 検討・協議の結果

八千代区考える会では、こうしたアンケート結果を踏まえながら、常に子どもたちにとってどうすることが良いのかという視点で検討・協議しました。小規模校には確かに一人一人にきめ細やかな教育ができるといった良い面がありますが、人間関係が固定化しやすいことや極端な男女の偏りといった影響を考慮せずにはいられません。また、学校は生きる力を身につける場であるとともに、多様な考えや体験を持つ児童生徒が集団の中で切磋琢磨し社会性を培う場であるという点からも、八千代区の3小学校においては、早急に1つに統合

すべきであるという結論に至りました。

4. 具体的な方策

(1) 統合方法

統合を3校同時に行うか、まずはいずれか2校を統合し、その後残りの1校と統合するという2段階での統合とするのかということも協議しました。2校からということになると、統合という環境の変化を2回経験する子どもが出たり、1回目の統合で、統合のメリットを受けられないことが考えられます。そうした子どもへの負担をできるだけ少なく、かつ短くし、統合することによるメリットをできるだけ早く、多くの八千代区の小学生に受けてもらいたい、そういう思いから3校同時統合が望ましいと考えます。

(2) 統合時期

クラス替えができるというメリットを早く生かせるよう、最短の平成28年度には統合するのが良いと考えます。

(3) 統合場所

新しく校舎を建設するには、土地の選定・確保に時間がかかり、さらに統合の場合には、調整することが数多くあるため、完成までにはかなりの年数を要することとなります。できるだけ早くということから、既存の施設を活用するということになり、統合した際の児童数に対応できるのは八千代南小学校だけです。校舎は平成4年度に建設され、新耐震基準に適合しています。統合するにあたっては、八千代南小学校の施設の活用が望ましいと考えます。

(4) 統合後の学校

校舎は八千代南小学校を活用しますが、全く新しい学校になります。学校名や校歌は今後検討ということになるでしょう。「統合すると母校がなくなる。」、そう嘆かれる声を聞きます。八千代区考える会では、今まで八千代区の3小学校が育んできた伝統を大切にしつつ、新しい魅力ある学校づくりに取り組んでほしいと思います。そして、統合して良かったと思える学校にしていただきますようお願いします。

統合は、子どもたちのことを最優先に考えての決断です。魅力ある学校づくりや教育環境・通学環境の変化に伴う子どもたちへの対応に十分に予算をかけて取り組まれることを切に希望いたします。

5. 要望事項

(1) 周知

この意見書の内容を尊重いただき、多可町教育委員会で統合の計画を立てられましたら、早急に地域・保護者・子どもへの十分な周知をお願いいたします。

(2) バス通学

統合をすると遠距離通学となる子どもたちは、バスを利用することになりますが、その際には、安全性と利便性に十分配慮していただくとともに、義務教育の観点から無料で利用できることを強く要望いたします。

(3) 地域活性化・跡地利用

「学校がなくなると地域が寂れる。」「子どもの声が聞こえなくなるのは寂しい。」などという意見が、懇談会やアンケートで多くありました。統合後の空き校舎の活用について不安に思われる方もありました。八千代北小学校、八千代西小学校の2校の活用については、地元と十分に話し合いを持っていただきたいと思います。そして地元の理解を得た上で、統合の計画と同時進行で、早急に子どもたちの育成、防災、魅力あるむらづくりなど様々な観点から検討いただき、地域活性化や交流が一層促進する地域の将来を見据えた具体策をぜひとも協議していただきますようお願いいたします。

6. おわりに

多くの八千代区の住民の方にとって、小学校の統合はやむを得ない苦渋の決断であり、卒業した学校、思い出多い学校がなくなることは大きな悲しみでもあります。しかし、将来を担う子どもたちが、自らの夢や目標に向かってたくましく育っていくことを心から願い、こうした結論に至りました。

多可町教育委員会におかれましては、この意見書を真摯に受け止め、早急に対応していただきますよう重ねてお願いいたします。

多可町の学校規模の適正化について

【中 学 校】

意 見 書

平成25年9月

中区地域の学校教育のあり方を考える会
加美区地域の学校教育のあり方を考える会
八千代区地域の学校教育のあり方を考える会

1. はじめに

地域の学校教育のあり方を考える会(以下「考える会」といいます。)では、それぞれの区で学校の規模の適正化に向けた具体的な方策を検討・協議して参りました。小学校については各区の考える会より意見書を提出いたします。中学校については多可町全体での協議が不可欠なことから3区合同で会を持ち、3区連名で意見書を提出いたします。

平成25年2月に3区の考える会の委員が一堂に会しました。しかしながら、全員が集まって幾度も会議を持つことはむずかしいため、各区の考える会に中学校検討部会を設け、3区合同で協議をすることといたしました。

そこで、各区の考える会で、会長・地域の代表・各小中学校PTA代表者・中学校長を構成員とする中学校検討部会を作り、平成25年8月6日(火)に第1回地域の学校教育のあり方を考える会中学校検討部会合同会を開催いたしました。そこでの意見交換などを各区の考える会に持ち帰り協議していただいたうえで、9月5日(木)に第2回中学校検討部会合同会を持ち、意見をまとめました。ここにその意見書を提出いたします。

2. 中学校の状況

多可町学校規模適正化検討委員会の答申では、中学校においては、1学年2学級以上が確保できる学校規模が維持できない状況が生じる場合には、「地域の学校教育のあり方を考える会」を設置することとされています。

多可町の生徒数・学級数推計表をみると、加美中学校と八千代中学校が現在すでに全学年各2学級となっています。中学校は教科担任制であり、加美中学校や八千代中学校では各教科の教員を揃えるのに苦慮しています。平成33年度には加美中学校で1学年が1学級という単学級が1つでき、平成35年度には八千代中学校でも単学級が1つ、さらに平成37年度には八千代中学校で全学年が単学級となることが予想されます。

中町中学校でも平成27年度には2学級という学年ができ、平成34年度には全学年各2学級となることが予想されます。加美中学校と八千代中学校の状況からみて、中町中学校もやがて単学級となることが懸念されます。

中学校では、それぞれの教科の教員が必要ですが、学級数が減少すると、配当される教員数が少なくなり、すべての教科に対応できるだけの教員が確保しにくくなります。

また、部活動についても生徒数の減少と、それに伴う教員の減少、それと相まって、近年は個人のニーズが多様化し、地域のクラブチームに加入する生徒もあり、従来の部活動を維持することが困難になりつつあります。そのため部活動の数が減少し、今後さらに生徒の選択肢が減っていくと思われれます。

3. 検討・協議の結果

このような状況から、中学校については、さらに議論を重ねる必要があります。そこで、早

急に中学校統合検討委員会を立ち上げ、統合も視野に入れて方向性を決める必要があるということはこの会の意見とします。

4. 要望事項

子どもたちにとっては、1年1年がそれぞれの貴重な時間です。今後の生徒数・学級数の推計や学校の小規模化のメリット・デメリットなどを、将来保護者となる世代だけでなく、広く住民に周知し、理解を得ながら、その上でさまざまな立場の方から意見を聞くなどして、早急に方向性を決めてください。

児童生徒数が減少し、中学校も課題が出てきています。中学校生活がこれからの多可町を担う子どもたちにとって魅力あるものとなるよう、最適な教育環境を提供していかねばなりません。

多可町及び多可町教育委員会には、少子化対策や特色ある学校づくりに今まで以上に力を入れていただき、ぜひとも活力と魅力ある、住みたくなるまちづくりに努めてください。

また、この会議では、現行制度のもとでの協議をしましたが、学級定員の減員を求める声が多く聞かれました。多可町議会におかれましても国に請願を出されておりますが、多可町としても国に、40人ではなく35人学級定員となるよう今後も働きかけをお願いします。

5. おわりに

地域の学校教育のあり方を考える会中学校検討部会として3区合同会で検討した意見をまとめました。

多可町教育委員会におかれましてはこの意見を真摯に受け止め、早急に対応していただきますようお願いいたします。

多可町学校規模適正化基本計画

平成26年3月
多可町教育委員会

1. はじめに

全国的に少子化が進む中であって、多可町においても児童生徒数の減少に伴い、小中学校の小規模化が進行しており、児童生徒の社会性を育む上での教育環境や学校運営など様々な面における影響が心配されます。

そこで多可町教育委員会では、より良い教育環境を作るため、平成22年9月に学識経験者や保護者、地域の代表、学校関係者などからなる「多可町学校規模適正化検討委員会」に、多可町小中学校の適正規模と適正配置について諮問しました。

同検討委員会では、幼稚園児や小中学校の保護者を対象に実施された学校規模適正化についての意識調査などの結果も考慮しながら平成24年2月に「多可町小中学校の規模及び配置の適正化について」が答申されました。

この答申を受け、多可町教育委員会では、多可町小中学校規模適正化基本方針(以下「基本方針」といいます。)を定めました。それに基づき、平成24年7月に多可町のすべての区に、保護者や地域の代表、学校関係者などからなる「地域の学校教育のあり方を考える会」(以下「考える会」といいます。)を設置し、各区の小中学校について協議いただきました。特に八千代区の考える会では、地区別懇談会や保護者アンケート、住民アンケートを実施されました。また中学校については、各区の考える会から選出された委員で協議いただきました。

こうしてまとめられた意見書が平成25年9月末に多可町教育長に提出され、この意見書の内容を十分に尊重し、このたび多可町学校規模適正化基本計画を策定しました。

2. 小学校の状況と今後の進め方

(1) 中区・・・当面現状維持

中町南小学校は、平成31年度までは全学年各2学級の見込みです。中町北小学校は、全学年各1学級ですが、平成31年度においても各学年20人前後と推測され、基本方針にあるような「複式学級(*注1)が生じるような状況」ではありません。こうしたことから、中区の小中学校においては、当面現状維持とします。しかし、中区においても児童数の減少は進んでおり、その推移や多可町の他の区の状況も参考にしながら、検討・協議を進めていきます。

(*注1・・・児童生徒数が少ないために2つの学年を1つの学級としたもの。兵庫県の場合、2つの学年の児童生徒数が14人以内の場合に1つの学級となります。(小学校1年生を含む場合は8人以内です。))

(2)加美区・・・当面現状維持

平成 29 年度には松井小学校・杉原谷小学校ともに全学年各 1 学級となる見込みですが、複式学級が生じるような状況ではありません。こうしたことから、加美区の小学校においても、当面現状維持とします。しかしながら、平成 31 年度の加美区の小学校児童数は 258 人となる見込みで、これは平成 18 年度の松井小学校児童数(259 人)とほぼ同じ人数です。つまり、平成 18 年度の杉原谷小学校の児童数(190 人)分ほどの人数が減る見込みであり、今後さらに児童数の減少が進むことが予想されます。こうした状況を、保護者をはじめとして広く住民に周知し、検討・協議を進めていきます。

(3)八千代区・・・早急に統合

現在、八千代区の小学校は 3 校ともにすべて全学年各 1 学級です。

複式学級については、八千代西小学校では平成 26 年度に1つでき、平成 28 年度には2つになることが見込まれます。また八千代北小学校では平成 29 年度に1つでき、平成 31 年度には2つになることが見込まれます。

男女の比率では、現在八千代北小学校の2年生が女子1人という状況であり、八千代西小学校でも現在1年生が男女1人ずつの学年となっています。今後、両校では男女どちらかが1人または0人という学年がいくつかできることが予想されています。

こうした学校の小規模化により、人間関係の固定化や集団活動への影響が懸念されるといった現状を踏まえ、複式学級の解消や多くの子どもたちの学び合える環境を実現するため、八千代区の 3 小学校を早急に 1 つに統合します。

3. 中学校の状況と今後の進め方・・・当面現状維持

現在、加美中学校と八千代中学校がすでに全学年各 2 学級となっています。平成 33 年度には加美中学校で1学年が1学級という単学級が1つでき、平成 35 年度には八千代中学校でも単学級が1つ、さらに平成 37 年度には八千代中学校で全学年が単学級となることが予想されます。

中町中学校でも、現在は全学年各 3 学級ありますが、平成 27 年度には 2 学級という学年ができ、平成 34 年度には全学年各 2 学級となることが予想されます。加美中学校と八千代中学校の状況からみて、中町中学校もやがて単学級となることが懸念されます。

中学校では、それぞれの教科の教員が必要ですが、学級数が減少すると、配当される教員数が少なくなり、すべての教科に対応できるだけの教員が確保しにくくなります。

また、部活動についても生徒数の減少と、それに伴う教員の減少、それと相まって、近年は個人のニーズが多様化し、地域のクラブチームに加入する生徒もあり、既存の

部活動を維持することが困難になりつつあります。そのため部活動の数が減少し、今後さらに生徒の選択肢が減っていくと思われます。

このような状況から、中学校は当面現状維持としながらも、保護者や住民に、中学校における小規模化の課題を周知し、議論を重ね、方向性を見極めていきます。

4. 八千代区小学校の統合について

(1) 基本事項

統合する学校・・・八千代南小学校、八千代北小学校、八千代西小学校

統合後の新学校の校区・・・八千代区全域

統合時期・・・平成 28 年 4 月 1 日に 3 校を同時に統合

統合場所・・・八千代南小学校の施設を活用

(2) 八千代区小学校統合準備委員会の設置

統合の円滑な推進を図るため、八千代区小学校統合準備委員会を設置します。

構成員・・・各小学校の代表、各小学校及びキッズランドやちよ PTA 代表、地域の代表、識見を有する方

協議項目・・・新学校の校名・校歌・校章・校旗・通学方法・PTA 組織・その他統合に伴う必要事項

(3) 統合後の学校づくり

今まで八千代区の 3 小学校が育んできた伝統を大切にしつつ、新しい魅力ある学校づくりに取り組みます。そして、統合して良かったと思える学校づくりを目指します。

(4) 地域への周知

平成 26 年度当初に住民説明会を開催し、地域の方に小学校統合への理解と新しい魅力ある学校づくりへの協力をお願いします。

(5) 八千代区小学校統合後の跡地利用

八千代北小学校・八千代西小学校の校舎、体育館、運動場については、別途多可町全体の公共施設の利用計画の中で、地元と十分に話し合いをもちながら、地域活性化や交流が一層深まるよう、地域の将来を見据えた有効活用を検討します。

平成22年度～平成28年度 八千代小学校統合経過

年月日	中区	加美区	八千代区
H22 9月21日	【諮問】 第1回多可町学校規模適正化検討委員会		
	【諮問】		
	小中学校の規模及び配置の適正化に関する基本的な考え方		
	小中学校の規模等の適正化のための具体的方策		
	・ 【協議】 小中学区の現状について		
H23 1月19日	第2回多可町学校規模適正化検討委員会		
	・ 【協議】 学校規模適正化アンケートの実施について		
	2月～3月 アンケート実施 (H23.2～H23.3) 3区の保護者対象		
7月1日	第3回多可町学校規模適正化検討委員会		
	・ 【協議】 学校規模適正化アンケート結果について		
11月11日	第4回多可町学校規模適正化検討委員会		
	・ 【協議】 答申(概要)について → 承認		
H24 1月17日	第5回多可町学校規模適正化検討委員会		
	・ 【協議】 答申(案)について → 承認		
2月2日	【答申】 多可町立小・中学校の規模及び設置の適正化について		
4月	【方針】 「多可町小中学校規模適正化基本方針」の策定・公表		
7月17日	第1回あり方を考える会		
7月20日	・ 規模適正化基本方針概要説明		第1回あり方を考える会
7月27日	第1回あり方を考える会	・ 意見交換	・ 規模適正化基本方針概要説明
	・ 規模適正化基本方針概要説明	・ 今後の進め方	・ 意見交換
	・ 意見交換		・ 今後の進め方
	・ 今後の進め方		
8月19日			校区別懇談会(八千代西小校区)
8月21日			校区別懇談会(八千代南小校区)
8月30日	第2回あり方を考える会		
	・ 意見交換		
9月2日			校区別懇談会(八千代北小校区)
9月11日	第2回あり方を考える会		
	・ 意見交換		
9月19日		PTA主催 規模適正化基本方針説明会	
		・ 規模適正化基本方針概要説明	
		・ 意見交換	
10月20日			保護者説明会(八千代南小校区)
11月9日			保護者説明会(八千代西小校区)
11月10日			保護者説明会(キッズ八千代)
11月11日			保護者説明会(八千代北小校区)
11月16日	第2回あり方を考える会		
	・ 意見交換		
11月27日	第3回あり方を考える会		
	・ 意見交換		
H25 1月29日	第4回あり方を考える会		
	・ 意見交換		
2月21日	第5回あり方を考える会		
	・ 学校適正化アンケートについて		
2月27日	第1回地域の学校教育のあり方を考える会(多可町全体会)		
3月	保護者アンケート 回収率88%		
3月26日	第6回あり方を考える会		
	・ 保護者アンケートについて		
4月23日	第7回あり方を考える会		
	・ 保護者アンケートの公表について		
6月	保護者アンケート結果配布		
	児童生徒意見配布		
	全世帯アンケート		

平成22年度～平成28年度 八千代小学校統合経過

年月日	中区	加美区	八千代区	
6月25日		第3回あり方を考える会		
		・意見交換		
7月8日		第4回あり方を考える会		
		・意見交換		
7月16日			第8回あり方を考える会	
			・保護者アンケートの公表等について	
7月30日	第3回あり方を考える会		・全世帯アンケートの結果について	
	・意見書について			
8月6日	第1回地域の学校教育のあり方を考える会	中学校検討部会3区合同会		
8月19日		第5回あり方を考える会		
		・中学校検討部会		
8月20日			第9回あり方を考える会	
			・中学校検討部会	
8月23日	第4回あり方を考える会			
	・意見書について			
	・中学校検討部会			
9月12日			第10回あり方を考える会	
			・意見書について	
9月18日		第6回あり方を考える会		
		・意見書について		
9月30日	【意見書】3区の地域の学校教育のあり方を考える会から教育委員会へ意見書提出			
H26 3月	【基本計画】「多可町学校規模適正化基本計画」の策定			
3月28日	多可町八千代区統合準備委員会設置要綱の制定（4月1日施行）			
4月21日	第1回 統合説明会			
4月28日	第2回 統合説明会			
4月30日	第3回 統合説明会			
5月13日	【統合準備委員会】 第1回 統合準備委員会			
		■総務部会	■通学部会	■PTA部会
5月13日		第1回	第1回	第1回
6月3日			第2回	第2回
6月11日				第2回
6月19日	第1回 八千代区区長会			
6月24日			第3回	
6月25日		第2回		
7月8日				第3回
7月16日			第4回	
7月24日		第3回		
7月28日				第3回
7月30日	第2回 八千代区区長会			
8月4日				第4回
8月28日		第2回 統合準備委員会		
9月10日			第5回	
9月12日	第3回 八千代区区長会			
9月16日				第5回
9月18日	第1回 八千代区地域協議会			
9月24日		第4回		
10月7日				第6回
10月15日			第6回八北小	
10月21日		第5回		
10月22日			第6回八西小	

平成22年度～平成28年度 八千代小学校統合経過

年月日	中区	加美区	八千代区
10月27日			第4回
11月4日			第7回
11月19日		第7回	
11月26日	第6回		
12月8日			第8回
12月16日	第3回 統合準備委員会		
H27 1月19日			第9回
1月21日		第8回	
1月27日	第7回		
2月16日		第9回	第10回
3月3日			第11回
3月11日	第8回		
4月9日			第5回
4月22日	第9回		
4月23日			第12回
4月28日		第10回	
5月19日	第4回 統合準備委員会		
5月26日			第13回
6月3日		第11回	
6月12日		第12回	
6月29日			第14回
7月2日			第6回
7月8日		第13回	
7月10日			第7回
7月27日			第8回
8月5日		第14回	
9月10日			第15回
9月14日			第9回
9月14日			第10回
10月7日		第15回	
10月15日		第16回	
10月21日	第10回		
10月26日			第16回
11月6日			第12回
12月1日			第13回
12月2日		第17回	
12月9日			第17回
12月14日			第14回
12月15日		第18回	
12月22日			第15回
H28 1月6日			第16回
2月6日	閉校式 八千代南小学校		
2月28日	閉校式 八千代北小学校		
3月6日	閉校式 八千代西小学校		
3月8日	第5回 統合準備委員会		
3月11日			第17回
4月7日	【開校】八千代小学校 開校式		